おかげ横丁 ひなまつり

阿部夫美子 和紙雛めぐり

令和8年2月21日(土)～3月3日(火)

伊勢の地で生まれ育った
和紙人形作家・故 阿部夫美子氏。
独自の美の世界を追求し続けた、
和紙の雛人形 28 作品を
おかげ横丁の各店舗に展示いたします。

【プロフィール】
伊勢の和紙人形作家　阿部夫美子 (あべふみこ)
伊勢市生まれ、昭和 50(1975) 年、中西京子氏に師事し、創作を開始。
おかげ横丁「神話の館」の「倭姫命」を制作。
そのほか、「遷御の儀 (皇學館大学神道博物館)」、「おかげ参り (二見賓日館)」、「斎王群行 (鳥羽市・戸田家)」などのジオラマ作品を制作。以降、日本の神々、伊勢ゆかりの歴史や文化にちなんだ作品などを精力的に創作、発表する。写真集に『和紙夢現』『日本の神話の世界』『紙神』がある。令和 6 年 4 月没。

おかげ横丁 ひなまつり　阿部夫美子 和紙雛めぐり

立春が過ぎると、幼い頃母が作ってくれたちらし寿司を思い出します。
「あなたは三月三日の朝生まれた、特別な女の子だからね」と
嬉々として雛祭りの仕度をしていました。
いま、私は和紙を素材とした人形創りをしていますが、
その原点がここにあるように思われます。

―――――― 阿部夫美子

①灯りの店

灯りがポッ
和ローソクに火を灯せば、
灯りがポッ！

②はいからさん

花かんざし
実物のかんざしを挿しています

③すし久

十五人段飾り
直径 11 センチほどの蛤貝の
船に乗った十五人飾り

④五十鈴川カフェ

五十鈴川
清流の五十鈴川をイメージした
楚々としたお雛さま

⑤吉兆招福亭

神話雛
伊邪那岐と伊邪那美の三頭身
のお雛さま

⑥くつろぎや

花地蔵
春野で道祖神の石仏の語らい

⑦きもの日和あやの

春うらら
春野でお雛さまがうつらうつら

⑦きもの日和あやの

㉔五十鈴塾

⑥くつろぎや

㉓野あそび棚

㉒とうふや

⑧伊勢路栽苑
富貴花・・・・・・牡丹の花の語らい。

⑨大黒ホール
おとぎの玉手箱・・いわゆる三太郎のほかに、かぐや姫、
夕鶴など。初期の作品。

⑩名産味の館
天平雛・・・・・・聖武天皇と光明皇后をイメージ。

⑪海老丸
浮かれ雛・・・・・両手を挙げて浮かれた気持ちを表現。

⑫団五郎茶屋
三五節句雛・・・・桃の節句と端午の節句をドッキング。
ぼんぼりの代わりに松明も可。

⑬Art＆Culture 山徳
宙へ・・・・・・・抽象的な柄を生かしたお雛さま。

⑭おみやげや
幼な雛・・・・・・あどけない顔のお雛さま。

⑮もめんや藍
白寿雛・・・・・・鶴は千年、亀は万年。

⑯伊勢萬内宮前酒造場
江戸っ子雛・・・・粋でいなせな江戸っ子です。

⑰他抜きだんらん亭
百歳雛・・・・・・現在は長寿社会。百歳でこんなお元気な
ご夫婦もいらっしゃることでしょう。

⑱招福茶屋
七福神・・・・・雛の客として招待された七福神が宝船で上陸し、
早速宴会を始めます。
絢爛・・・・・・私が制作したお雛さまの中で最大の大きさ。
足元に七福神を配するためにこの大きさとなった。

⑲孫の屋三太
おちょぼ雛・・・おちょぼ口の小さなお雛さま。

⑳傳兵衛
ほのぼの・・・・数多く作ったお雛さまの中で、ただ一つ
手元に残すとしたら、このお雛さま。

㉑神路屋
見上げてごらん・・作品集「和紙夢現」の裏表紙を飾る作品。

㉒とうふや
雛の休日・・・・いつも雛段でおすましていますが休日には
家族団欒過ごしています。

㉓野あそび棚
平成の記憶・・・平成の記憶を巻物に記録しておきましょう。

㉔五十鈴塾
慶祝・・・・・・皇太子殿下（現天皇陛下）ご成婚をお祝い申し
上げて作成しました。
享保雛・・・・・お雛さまは幸せの形なので、雛を作る時は
にこにこ顔で制作しています。
助六雛・・・・・歌舞伎の助六･揚巻を羽子板に乗せて、お雛さまに。